

令和6年 第4回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

少年の主張について

はじめに、少年の主張について申し上げます。

「恵庭市少年の主張中学校大会」にて最優秀賞を受賞した生徒1名が、9月6日、札幌市で開催された「少年の主張全道大会」において、全道各地から集まった各地区を代表する中学生の中から最優秀賞であります北海道知事賞を受賞し、11月24日に東京都で開催された全国大会に招待参加したところであります。

市民文化祭について

次に、市民文化祭について申し上げます。

10月4日から11月3日にかけて、市民による実行委員会主催により、市内の文化団体やサークル等が日頃の活動成果を発表し、文化芸術活動の推進を図ることを目的とする第69回恵庭市市民文化祭が開催されました。市民会館、島松公民館、夢創館などを会場に、詩吟、民謡、舞踊などの舞台発表を始め、書道、華道、絵画の展示なども実施され、多くの市民で賑わったところであります。

夢創館の設備更新事業について

次に、夢創館の設備更新事業について申し上げます。

夢創館では、老朽化が進んでいた一部音響設備等のリニューアルを行いました。スピーカーシステムやワイヤレスマイクなどの更新に加え、固定型の大型スクリーンも導入し、更に迫力ある画面での映画会などが可能となり、文化芸術や市民活動の充実を図ったところであります。

文化功労者等表彰について

次に、文化功労者等表彰について申し上げます。

本年度の文化功労者・青少年表彰につきましては、11月1日に市民会館大ホールにおいて、スポーツ功労者も含めた合同表彰式を開催し、

	文化功労者に５個人、青少年表彰に２個人の方々を顕彰させていただきました。
青少年健全育成事業について	次に、青少年健全育成事業について申し上げます。 秋の青少年育成強調月間事業のひとつとして、市民会館中ホールにおいて、１１月９日に「恵庭市青少年育成市民のつどい」を開催し、姉妹都市ティマル市への派遣者と少年の主張全道大会最優秀受賞者による発表や加盟団体等による活動発表等を行い、地域における青少年育成活動の一層の推進を図ったところであります。
恵庭岳太鼓保存会創立４０周年記念事業について	次に、恵庭岳太鼓保存会創立４０周年記念事業について申し上げます。 １１月１７日に、恵庭岳太鼓保存会による創立４０周年記念事業が市民会館大ホールにて行われ、壮麗な太鼓のひびきを轟かせ、参加した多くの市民に郷土芸能のすばらしさを知っていただいたところであります。
読書活動の推進について	次に、読書活動の推進について申し上げます。 １０月の「人とまちを育む読書推進月間」では、６日に黄色いエプロンの会主催の第４７回 本のリサイクル市、１２日に、第３２回 図書館まつりを開催いたしました。１１月には、２日に図書館開館２４時、１６日に絵本作家「よしながこうたく」さんによるライブペイント及びサイン会を開催しました。ライブペイントでは、５０名の参加者が よしながこうたくさん とオリジナルキャラクターを描きました。 また、「第１５回恵庭市小中学生調べる学習コンクール」には、市内児童生徒から４５０作品の応募があり、１１月１０日に表彰式を行ったところであります。 研修事業といたしましては、１１月１９日に第２回司書教諭等及び学

	校司書合同研修会を開催いたしました。新聞をみんなで読み、思ったことを討論しながら、話題を共有するワークショップ、「まわし読み新聞」を行い学校図書館関係者の知識や理解を深める機会といたしました。
郷土資料館事業について	次に、郷土資料館事業について申し上げます。 郷土資料館事業では、一般財団法人恵庭観光協会と共催で10月12日にボランティア講師をはなふる花の拠点センターハウスにお招きし、黒曜石に好きな絵や模様を描く「黒曜石カービング」を開催し、多くの方々にご参加をいただきました。
埋蔵文化財関連事業について	次に、埋蔵文化財関連事業について申し上げます。 埋蔵文化財保護と史跡整備への理解を深めていただく事業として、9月21日から9月23日に埋蔵文化財整理室において企画展「特別公開2024カリンバ遺跡重要文化財漆塗り装身具」を開催し、3日間で195名の皆様にお越しをいただきました。また、9月28日には第3回「カリンバ土曜講座」を開催し24名の皆様にご参加をいただきました。 次に、8月27日付で国の重要文化財に指定された「西島松5遺跡出土品」についてですが、9月11日から10月14日までの間、郷土資料館において「新指定記念写真展」を開催し、10月19日から一部実物を展示する「新指定記念出土品展」を開催しているところです。
アイヌ文化関連事業について	最後に、アイヌ文化関連事業について申し上げます。 恵庭市内の小中学生6名の参加によるアイヌ文化マスター育成事業の全8回のうち、第3回として9月8日に「アイヌ語の学習」を、第4回として10月20日に「イナウ製作見学とムックリ製作体験」を、第5回として11月9日から11月10日にかけて「函館市北方民族資料館」や「知里幸恵銀のしずく記念館」などを見学し、育成事業を推進いたし

ました。

また、昨年１０月２日に恵庭アイヌ協会へ返還されたアイヌ民族の御遺骨について、返還後は埋蔵文化財整理室において丁重に安置しているところですが、１０月２７日に同施設の敷地において恵庭アイヌ協会の主催により慰霊の儀式が執り行われております。今後もアイヌ民族の御遺骨の安置と副葬品の適切な保管に努めて参ります。

以上、第３回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。